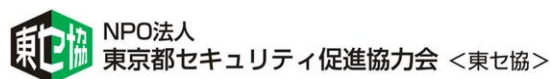


東京の安全を目指して26年



理事長 照井 康平



はじめに

公益社団法人日本防犯設備協会(日防設)におかれましては、設立40周年を迎えられました事心よりお喜び申し上げます。また、私どもの事業運営にご支援ご協力をいただいております事に心より感謝申し上げます。

1986年に我々会の前身である防犯警報工業会と、大阪を中心とした近畿防犯設備協会及び関連企業の有志により設立されました。共に安全と安心を目指していく団体ではありますが、今後とも培った豊富なノウハウをいかに発揮され、これからも防犯設備関連において力強く日本をけん引されて行かれる事を願っております。

東セ協のご紹介

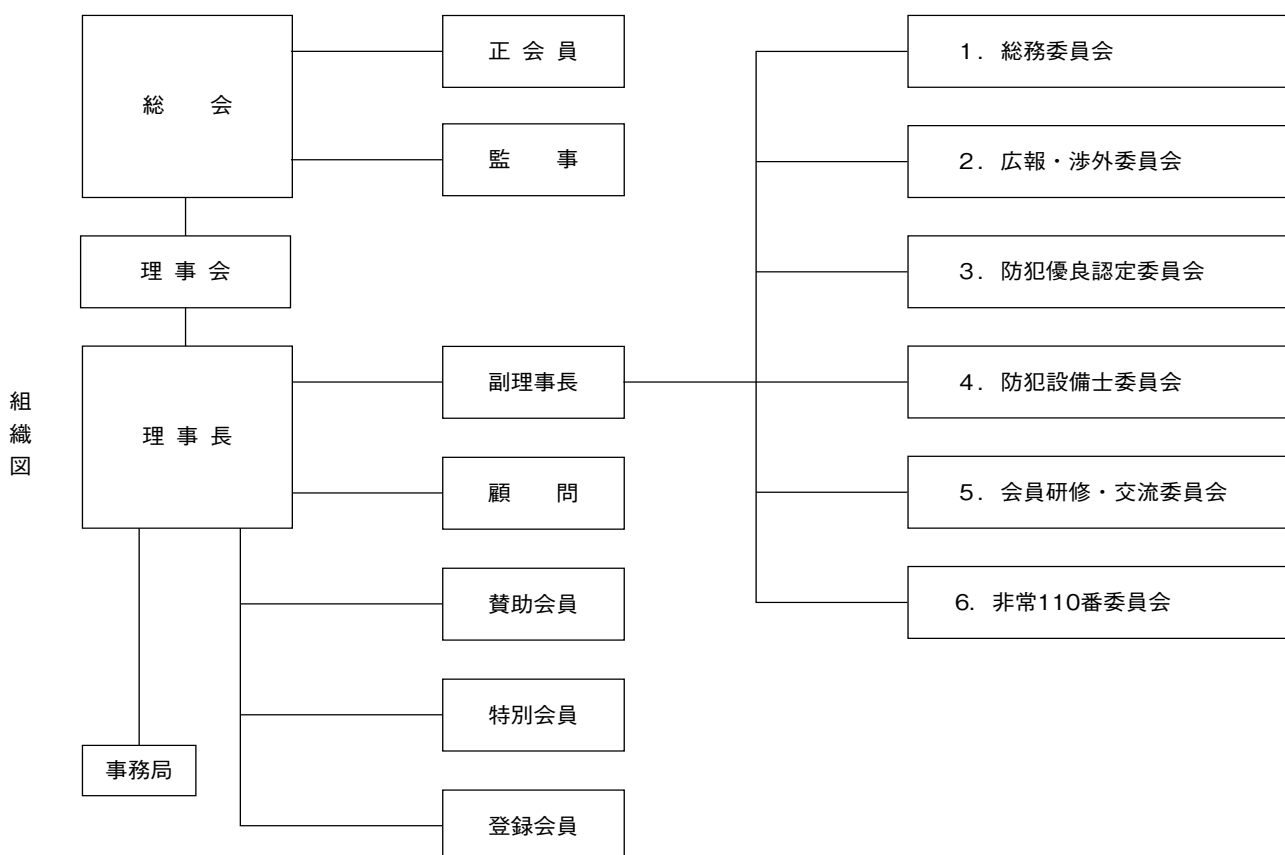
【設立の目的】

平成12年(2000年)警視庁等行政機関が実施する地域安全活動に協力し、都民の防犯意識を高め、都民が安心して暮らせる安全なまちづくりに貢献することを目的に設立されました。

【会員構成】

設立時、有志20社で活動を開始し、2026年4月現在、会員数は下記の通りです。

正会員 74社 賛助会員 2社 特別会員 6団体 登録会員 255





【東セ協の挑戦】学校110番非常通報システム事業に参入

2001年（平成13年）大阪教育大学付属池田小学校で起きた無差別殺傷事件に対応し、当時の石原慎太郎都知事は、警視庁と協議し都内の文教施設に非常ボタンを押すとすぐに警察が駆け付ける「110番非常通報装置」の設置を決めました。

設立間もない東セ協は、現・照井理事長を中心に大きな参入障壁がありましたが、陳情を重ね、事業への参加資格を得る事が出来て、現在の運営基盤を築きました。



委員会活動内容の紹介

【総務委員会】委員長 木原 浩盛

平成17年に委員会制度が発足し、各委員会が分担して活動することになりました。

総務委員会の活動目的は「東セ協の全会員が東セ協の定款に副った安全で安心なまちづくりに貢献する為の活動環境を整備することを目的とする」となっております。

具体的には効率的な事務局運営、会員の動静、会員名簿の整備、入会審査、他団体との調整、契約の窓口となっております。また理事会、通常総会の開催を担当しております。

又、近年の労働基準に合わせて就業規定の改正、会員向け慶弔規定の作成、出張旅費規程の改定など活動しやすい環境作りに努めております。

日々の活動で考えているのは、会の活動の持続可能な状態作りです。

【広報・渉外委員会】委員長 南保 好子

広報・渉外委員会は、東セ協の情報発信機関として、年一回の会報誌の発行を通じて会員の皆様の活動を紹介しております。

又、取材の申込、執筆依頼などの対応窓口として機能しています。

今期の計画としてホームページのリニューアルを考えており、多くの人に防犯に役立つ情報、東セ協の存在を知っていただきたいと思います。

【防犯優良認定委員会】委員長 矢嶋 大助

最近、トクリュウ(匿名・流動型犯罪グループ)による強盗事件を耳にする事が増えてきました。今までの侵入窃盗事件と違い、開口部(窓・扉)を強引に破壊して侵入し、居住者に対し平然と危害を加える凶悪な事件になっています。このような犯罪から居住者自身の生命及び財産を守るために新築戸建住宅の防犯性能基準を定め、この防犯性能を有する戸建住宅を東京防犯優良戸建住宅として認定・登録することを昨年9月から開始いたしました。

この制度は、東京都都民安全推進本部・警視庁生活安全部から推薦、(公財)東京防犯協会連合会から制度の普及・促進に関わる協力を得ています。

他に、防犯優良賃貸認定事業、防犯優良マンション・駐車場登録制度の調査・審査業務を行っています。

【防犯設備士委員会】委員長 山田 誠

防犯設備士の活動支援を主眼においた委員会です。

年間約100回の防犯診断に東セ協防犯アドバイザーを派遣、防犯イベント開催への協力を行っています。

又、不足している防犯アドバイザーの養成も大切な事業としております。

【会員研修・交流委員会】委員会 金井 務

当委員会は東セ協会員のレベルアップを目的として、賛助会員を含む防犯機器メーカーの機器説明会や防犯診断基準の策定・変更時に伴う研修会などの各種セミナー・見学会などを企画しております。

また会員相互の交流を目的とした日帰り観光イベントなども年に1回開催しており、家族を交えて、いちご狩りに行ったりホテルビュッフェに行ったりと楽しい時間を過ごすことで、家族のきずなを深め日常の業務がより一層円滑に進めることができているようです。

これからも会員の総合力を高めるために努力していきたいと存じます。

【非常110番委員会】委員長 青木 一

非常110番通報装置の設置、保守を担当する会員の活動を支援・調整する委員会です。

現在、子どもたちの安全を守る学校110番非常通報システムは、欠かせない防犯設備となりました。

東セ協では、24時間365日中央監視センターで設備状態を監視し、保守点検を行い、常に安全で確実に運用できるよう万全の体制を整えております。

文教施設以外にも設置されて来っており、普及に向けて啓蒙活動をしていきたいと考えております。

【東京都セキュリティ促進協会のあゆみ】

- 平成11年 2月 仮称「東京都防犯設備促進協会」開催、警視庁より有志20社に、協力を要請される。
- 平成12年 3月 「東京都セキュリティ促進協会」設立総会開催、役員承認される。事務所を開設。正会員85法人及び個人。賛助会員5法人、特別会員1法人。
- 平成13年 9月 学校110番特別委員会を設置し、10月に東京都教育庁により学校110番に参画、承認される。
- 平成14年 3月 特定非営利活動法人（NPO法人）として、東京都より認可される。
- 平成15年10月 「東京都安全・安心まちづくり協議会」設立と共に参加する。
- 平成16年10月 勸東京防犯協会連合会より「東京防犯優良マンション、駐車場登録制度」の調査、審査を受託する。
- 平成16年11月 中央区より共同住宅生活安全（防犯）アドバイザー派遣業務を受託。
- 平成19年 6月 警視庁が建物防犯協力員委嘱状交付式を開催。東セ協からは36名が交付を受ける。
- 平成19年10月 勸東京防犯協会連合会が東京防犯優良マンション等審査員・調査員委嘱状交付式を開催。東セ協からは新任10名を含む38名が交付を受ける。また、東セ協独自の資格「防犯アドバイザー」認定制度を開始し、1期生35名を認定。（平成29年現在62名）
- 平成20年 6月 東京防犯優良マンション等設計審査合格1号・2号物件を報道発表する。
- 平成20年 8月 港区より共同住宅防犯機器設置助成制度に伴う防犯診断業務を受託。
- 平成21年 4月 中央区より生活安全・防犯アドバイザー派遣業務を受託。中央区内の住居に防犯アドバイザーを派遣する。
- 平成21年 7月 中央区安心安全おまかせ相談の計21会場に相談員を派遣する。
- 平成22年 2月 創立10周年記念式典及び臨時総会を開催する。
- 平成22年 9月 勸東京防犯協会連合会が東京防犯優良マンション等審査員・調査員委嘱状交付式を開催。東セ協から28名が交付を受ける。（平成29年度現在29名）
- 平成26年 4月 東セ協ロゴマーク及び名称を商標として登録する。
- 平成30年 7月 「東京防犯優良賃貸住宅認定制度」説明会、記者会見 於:東セ協
- 平成30年 9月 「東京防犯優良賃貸住宅認定制度」第一号認定証授与式 於:クレアール西新井
- 平成30年11月 東セ協「登録会員スキルアップセミナー」・「防犯アドバイザースキルアップ研修会」 於:としま産業振興プラザ
- 令和 3年 2月 警視庁生活安全部長から永年の警察業務への協力に対して感謝状を授与される。
- 令和 3年 2月 東京防犯協会連合会から永年の地域防犯活動に対して感謝状を授与されました。
- 令和 5年 6月 令和5年第一回通常総会開催 新理事長に照井康平氏就任、政本猛前理事長は顧問に就任。
- 令和 5年 8月 としま産業振興プラザに於いて防犯力の集いを開催。多くの住民に防犯の大切さを伝えました。
- 令和 6年11月 目黒区役所に於いて大規模な強盗対策イベントが開催。講話、防犯機器展示・説明を担当。NHKニュースで全国放映される。
- 令和 7年 2月 練馬区役所から防犯イベント開催依頼を受諾、講演、防犯機器展示説明を実施。区民200人が参加。翌年も継続開催となる。
- 令和 7年 8月 昨今のトリック犯罪に対応した東京防犯優良戸建住宅認定制度を発足。プレスリリースを行う。
- 令和 7年 9月 9月1日から警視庁生活安全部と東京都民安全推進本部の推奨を得てスターした。

東セ協会員の活動風景



NPO法人東京都セキュリティ促進協会は、これからも関係機関と協力し防犯意識の普及に取り組んでまいります。